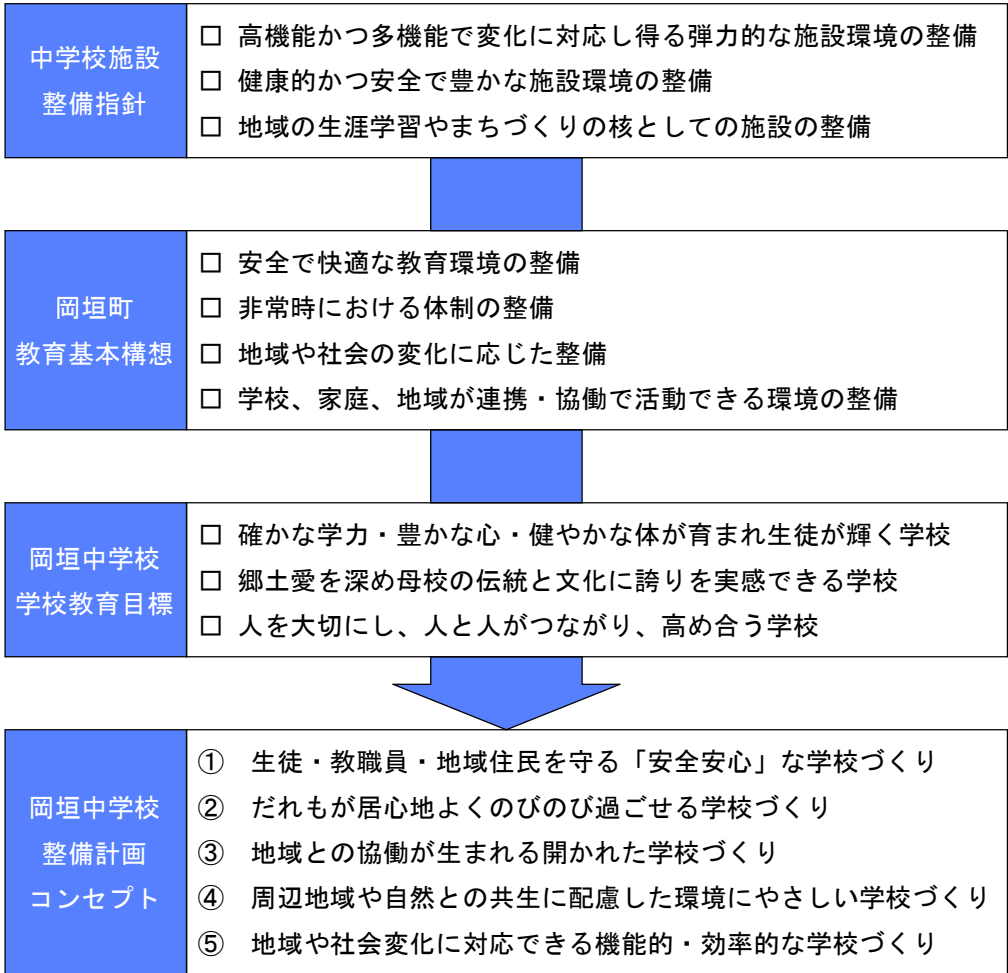


C. 基本方針

(1) 計画コンセプト

文部科学省の中学校施設整備指針や岡垣町教育基本構想、岡垣中学校の学校教育目標を踏まえ、5つのコンセプトで計画を策定します。



【コンセプトに基づく整備方針】

- ① 生徒・教職員・地域住民を守る「安全安心」な学校づくり
 - ・十分な防災性、防犯性など安全性を備えつつ、障がいのある生徒・地域住民にも配慮した安心感のある施設環境を形成する。
 - ・災害時における地域の避難所又は緊急避難場所としての役割を十分発揮できる機能を備える。
- ② だれもが居心地よくのびのび過ごせる学校づくり
 - ・空調設備を設置、自然採光・自然換気による明るく過ごしやすい環境とする。
 - ・教室に入りづらい、不登校傾向にあるなど様々な課題を抱える生徒に対応するため、教育相談や学習支援、生徒指導のための部屋を整備する。
 - ・物理的・心理的なバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進め、インクルーシブ教育の環境整備に配慮する。
- ③ 地域との協働が生まれる開かれた学校づくり
 - ・地域と学校がつながり、ともに学ぶ学校とするため、地域開放できる部分を持つ学校づくりを心がけ、利用しやすい平面・動線計画に配慮する。
- ④ 周辺地域や自然との共生に配慮した環境にやさしい学校づくり
 - ・環境へ配慮した取組みはSDGsの観点からも積極的に推進し、屋根や外壁の高断熱化や高効率照明の導入等の省エネルギー化、太陽光・太陽熱利用等の再生可能エネルギーの導入、木材利用、校内緑化を積極的に進める。
- ⑤ 地域や社会変化に対応できる機能的・効率的な学校づくり
 - ・学校へ求められるニーズの変化に対応しやすい、可変性のあるシンプルな校舎とする。
 - ・コンパクトかつ効率的な動線等を取り入れ、使い勝手が良い施設とする。

計画コンセプトに基づき、以下の事項に配慮した施設整備を行う。

■施設全体共通

- ・物理的・心理的なバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化を進め、インクルーシブ教育の環境整備に配慮する。
- ・鉄筋コンクリート造を基本とするが、内装等は木質感あふれる空間づくりに配慮する。
- ・小中一貫校や義務教育学校の設置、余剰教室の他用途活用など、学校へ求められるニーズの変化に対応しやすい施設配置や動線配置とする。
- ・コンパクトかつ効率的な動線等を取り入れ、使い勝手が良い施設とする。
- ・屋内運動場や交流スペースなど地域開放できる部分を持つ学校づくりに考慮するとともに、不審者の侵入を防ぐなど防犯性の高い平面・動線計画とする。
- ・長期耐用性に配慮するとともに、修繕や更新が行いやすい効率的な維持管理が可能なシンプルな構造及びデザインとする。

■配慮を要する生徒の空間

- ・教室に入りづらい、不登校などなんらかの課題を抱えている生徒など多様な子どもたちの居場所づくりに配慮するため、教育相談や学習支援などを行う多目的教室を整備する。
- ・保健室、相談スペースに ICT を活用した学習・指導が行える環境を整えるものとする。

■環境への配慮

- ・環境へ配慮した取組みは SDG s の観点からも積極的に推進する。
- ・屋根や外壁の高断熱化や高効率照明の導入等の省エネルギー化、太陽光・太陽熱利用、風力等の再生可能エネルギーの導入を検討するとともに、木材利用、校内緑化の積極的な導入を検討する。

■教室環境

- ・空調設備を設置、自然採光・自然換気による明るく過ごしやすい環境とする。
- ・普通教室を南側に配置し、十分な自然光を取り入れるものとする。

■トイレ

- ・洋式を基本とし、生徒数に対して十分な数の器具を設置する。
- ・トイレ床は乾式とし、清掃しやすく衛生的な施設とする。
- ・多様性に配慮したバリアフリートイレ、男女共用トイレを設置する。

■多目的ホール

- ・複数設置など様々な学習に対応できる環境を整備する。

■既存の記念碑・記念樹木

- ・既存の記念碑・記念樹木は保全し、必要に応じて移設・移植する。